

赤ちゃんから学ぶ いのちの授業

2017年より実施している、赤ちゃんから学ぶいのちの授業は、3年ぶりに赤ちゃんゲストと一緒に実施することができました。延べ38組の赤ちゃんゲストと共に7校の中学校を訪問し、ふれあい体験の時間を持つことができました。



中学生は、妊婦体験・赤ちゃんふれあい体験・いのちの話を3つのプログラムを通し、自分のいのち・他人のいのちの大切さに気づき、自分の未来を楽しみに感じることができました。

赤ちゃんゲストにとっても、赤ちゃんへの思いや育児の経験を中学生に伝えることで、これまでの妊娠・出産・育児を肯定的に捉えなおし、改めて我が子の持つ力と魅力を感じる機会となりました。これにより、親子の絆がより一層深まり、『育児はひとりじゃない』と実感し、明日からの育児も頑張ろうと前向きに思えたようです。



	学校名	中学生	赤ちゃんゲスト
6月29日	前橋市立第六中学校	163人	4組
9月2日	前橋市立第七中学校	199人	6組
9月13日	前橋市立南橋中学校	178人	6組
10月18日	前橋市立元総社中学校	95人	6組
10月26日	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	125人	4組
11月15日	共愛学園中学校	95人	6組
11月29日	前橋市立富士見中学校	215人	6組



この授業を通して、『人と人とのつながり・いのちのつながり』を大切にしていきたいというゆるいくの想いを、赤ちゃんゲスト・中学生・学校の先生方・スタッフなど、関わった多くの人に伝えることができたと感じています。

2022年度を振り返って

この度、初の『ゆるいくだより～ふれあいのわ～』を発刊することができました。ここに至るまでにたくさんの方のご支援・ご協力をいただきました。誰ひとり欠けてもこのような形を生み出すことはできなかつたと、みなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は三年ぶりにおへやサロン、そして赤ちゃんゲストと一緒に赤ちゃんから学ぶいのちの授業を実施することができました。コロナ禍でなかなかやりたい事業ができず、もどかしいことの多いこの二年間でしたが、再び赤ちゃんたちと一緒に過ごすことができ、とても嬉しく思っています。また、試行事業として産後教室はぐいくをスタートすることができたのも、団体の活動を前にすすめる大きな一歩となりました。

この一年を通して、ゆるいくの目指す『誰をも尊重できる人と人との関係作り・仕組み作り』が、少しだけ実現できたと感じています。子どもたちの未来を社会全体が温かいまなざしで支えていくことができたなら、小さな『ふれあいのわ』は、やがて大きな『ふれあいのわ』になると信じて、これからも活動していきたいと思っています。

子育てネットワークゆるいく 報告書作成チーム

群馬県共同募金会様より
助成をいただきました。



発行：子育てネットワークゆるいく
お問い合わせ：yuruikumabashi@gmail.com

Facebookにて
最新情報更新中！



第1号
2023年3月発行

前 前橋市教育長 塩崎政江



「待っていたのです。やっとお話することができますね。」「他のお母さんと会えてうれしいです。ほっとします。」など、会えること、話ができること、聞けることを待ち望んでいる姿をたくさん目にしました。コロナ禍で改めて分かったことです。人は本来、一人でいるよりも誰かとつながりたいと感じるものです。しかも、自分の気持ちを分かってくれる人とつながれたら、それだけで幸せな気分になりますね。子どもは一人では育ちません。両親、祖父母、叔父叔母、そして家族以外の方が子育てに関わることで、親も子ども元気になると思います。いわゆる『斜めの関係』の人とのつながりが必要です。孤立してしまう『孤育て』が一番の課題だと感じています。

子育ての悩みは常にあるもの。子育てサロンに出かけることで安心する、おちつく、まあいいかと思う。それでいいのですが、その時のことはすぐに忘れてしまいがちですね。子育てサロンがない時でも、このおたよりを見ると、「一人じゃない！」と思うことができるでしょう。『ゆるいくだより～ふれあいのわ～』は、そんなゆるいくでの出会いと次のゆるいくでの集まりとをつないでくれる『手元に置けるつながり』になると思います。

子育てネットワークゆるいく 代表 井上昭子



子育てネットワークゆるいくは、「みんなの笑顔がいちばん！」をスローガンに、地域社会が子育てを共に支えるという考えの下、2014年より子育て支援活動を行っています。

今の世の中、不条理なこと理不尽なことがたくさんあります。ましてや、新型コロナウイルスは、我々に大きな不安を与え続けています。そんなこの時代にこの国に生まれ、この時期を大人として生きていることの意味を、改めて考えさせられます。時間だけは、誰にも止められません。たとえどんなことがあろうと、春になれば桜はきれいな花を咲かせてくれます。子どもたちの成長も、立ち止まることはありません。だからこそ、子どもたちのために、心を尽くし、たくさんの人と想いをつなぎ、未来をつないでいきたいと思っています。

今年度も、子育てネットワークゆるいくは、誰かを想う温かいまなざしで、誰をも尊重できる人と人との関係作りや仕組み作りを目指し、活動してまいりました。ゆるいくの活動にご協力いただいたすべての皆様、大変お世話になりました。この場をお借りして、お礼とともに心より感謝申し上げます。



ゆるいくサロン

あおぞら サロン

あおぞらサロンは、2021年度から楽歩道前橋公園みどりの散策エリアで、毎月1回（8月と1月を除く）実施しています。



子どもたちは、広い公園を走り回ったり、マットの上でゴロゴロしたり、子ども同士で刺激をうけたり。お母さんたちは、子どもと遊んだり、おしゃべりしたり、情報交換したり。みんなで、ゆる〜くのんびりした時間を過ごしました。

みんなで走るとたのしいね！

サロンの最後は、リトミック、手遊び、読み聞かせなどで締めくくりました。子どもたちは、身を乗り出して楽しんでいました。

屋外で季節や解放感を感じながら、気軽に参加でき、子どもも大人も笑顔になれるあたたかな場所と時間を、今後もみなさんと共有していきたいです。



わたしがあつめたはっぱで
おうかんができたよ！



オンライン サロン

コロナ禍でもノーマスクで顔を見ながら話せる、オンラインサロンを今年度も開催しました。知恵を絞って各分野から講師をお招きして、お料理から子育て相談までどれも魅力的な内容となりました。時にはお子さんと一緒に、時にはお昼寝タイムの親のひとときに、場所は違えど一緒に学び、交流する時間を過ごすことができました。

4月26日
親子で遊ぼう！リトミック
小川幸代さん
4組参加

6月25日
教えて！小児科先生
小児科医師 山崎優先生
4組参加

子どものスキンケアや
薬の投与方法について
教えていただきました！



カボチャを使った
スノーボールクッキーを作り、
今後の昆虫食について
考えました！

10月23日
料理で育む親子の絆
フードコーディネーター林道子先生
3組参加



12月10日
助産師さんになんでも聞いちゃおう
母の芽助産院 後藤ひとみ先生
4組参加



ブレイクアウトルームを使って、
後藤先生、塩崎先生に
個々の悩みをじっくり聞いて
もらうことができました！

2月25日
イライラ子育て、さようなら！
前橋市教育長 塩崎政江先生
4組参加

ぴったんこ サロン

おへやサロンとオンラインサロンを“ぴったんこ”させた『ぴったんこサロン』は、ゆるいくサロンの大イベント。夏期・冬期の2回『おはなしの会もこもこ』さんをお招きして親子で人形劇を楽しみました。会場でも各家庭でも、大きな声と一緒に掛け声をかけている様子が印象的でした。

8月20日
おへや6組
オンライン2組

1月22日
おへや12組
オンライン6組



おへや サロン

2022年度は、2年3か月ぶりに前橋市中央公民館でのおへやサロンを開催しました。コロナ禍での久々の開催に不安もありましたが、感染対策を徹底し実施しました。以前と同じように、ゆる〜くあたたかな時間を持つことができ、再開できた喜びを強く感じました。季節に合わせたリトミックや、身近なものを使ったおもちゃの製作など、各回毎に違った時間を楽しみました。ママ同士の話にも花が咲き、広い和室を走り回る姿、笑い声、穏やかで和やかな時間を過ごすことができました。

5月31日
4組参加



7月26日
6組参加



9月20日
3組参加

毎回のおたのしみは
絵本のよみかせ！

11月22日
6組参加



1月17日
2組参加



産後教室 はぐいく

産後教室『はぐいく』は、今年度の試行事業として8月よりスタートしました。家族と自分をケアする方法を学びながら、赤ちゃん楽しい時間を過ごす4回連続の講座です。少人数でアットホームな雰囲気、専門家によるサポート、家でも続けられるようなカリキュラムを準備してお伝えしています。今年度は、計13組の家族にご参加いただきました。



いのちの話で赤ちゃんの誕生秘話を聞き、ベビーマッサージで赤ちゃんに優しくタッチングすることで参加者の表情が和らぎ緩んでいきました。また、産後のボディワークとして毎回、ヨガ・骨盤底筋トレーニング、バランスボール等を実施しました。育児で凝り固まった筋肉を動かし、リフレッシュできたようでした。



4回目はパートナーとの参加で、未来ビジョンを書き出しました。パートナーとお互いの思いを再確認しながら、ビジョン実現に向けて楽しそうに話をしている様子が印象的でした。パートナーとのマッサージは、触れ合うことで心を整えコミュニケーションの質が高められるといわれており、笑顔の絶えない癒しの時間になりました。